

月刊 工連 ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

- ボイスシリーズ 沖縄の特色を活かした産業振興の実現
- 「元気カンパニー」(株) 日進商会
- 2014年県産品奨励月間標語・工連表彰等受賞者決定
- 平成26年度新入社員研修セミナー開催

美ら島を未来へ導く
イノベーターを育む

2014
5月号
Vol.594

沖縄ガス ショールーム

沖縄ガス ショールーム

ゆ〜くる

YOU-KURU



- 1F 展示スペース**
 - ガスコンロ展示スペース ●システムキッチンコーナー ●ウィズガスハウス ●比較・実演コーナー
 - キッズスペース&授乳室 ●ミストサウナ体験コーナー ●「涼厨」ブース ●創エネ・省エネコーナー
- 2F**
 - クッキングスタジオ ●セミナー室 ●会議室

「広々スペースに最新の商品を随時展示中。
 ガスのある快適な暮らしをご提案いたします！」

「クッキングスタジオでは
 「お料理教室」を随時開催中。」



パナソニック Panasonic
ワカラスタンダード
みんなの暮らしのために
TOTO LIXIL
Link to Good Living



「ゆ〜くる」へのお問合せはこちら
 沖縄ガス ショールーム ゆ〜くる
YOU-KURU ☎(098) **863-7750**
(ショールーム)
 開館時間: 10:00~17:00 休日: 年末年始・旧盆(ウークイ)
 沖縄ガス

ウィズガス 街に暮らしに ちゅらエネルギー
沖縄ガス

沖縄県那覇市西3-13-2
 TEL:098-863-7730 (代表)

contents

- 2p voice vol.100
沖繩の特色を活かした産業振興の実現
沖繩県商工労働部長 下地明和
- 3p 2014年県産品奨励月間標語決定
工連表彰等受賞者決定
- 4p 第48回オグレスビー氏工業功労者賞及び
工連表彰受賞者
- 5p 平成26年度新入社員研修セミナー
(公社)沖繩県工業連合会
- 6・7p キラリ!元気カンパニー「沖繩の北極星 ニヌファブシ」
着る人をおしゃれにする
ハイクオリティな「かりゆしウェア」
株式会社日進商会
- 8p ちばりよ〜県産品
沖繩の「公式茶」認定を目指して
商品開発・普及に奮闘中!
株式会社比嘉製茶
- 9p 新うちな〜むん紹介
素朴な風味とやさしい味を次の世代に紡ぐ
手づくり菓子の店 なかとみ
- 10p ゆいくる材の新規申請受付について
平成26年度沖繩県リサイクル資材評価認定制度
- 11p 平成26年度中小企業者のための
沖繩県制度金融のご案内
沖繩県商工労働部中小企業支援課
- 12p 沖繩高専だより
●公開講座 ミニロボットフェスティバルを開催しました!
●平成26年度入学式を挙行了ました
●「平成26年度沖繩工業高等専門学校産学連携協力会
理事会・総会・懇親会」を開催しました
- 13p 沖繩職業能力開発大学校
2014年度オープンキャンパスのご案内
- 14p 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
ETロボコンへの参加報告
- 15p 工業技術センターだより
所長挨拶・施設のご案内
- 16p トピックス
2014年 泡盛の女王が訪問
沖工連青年部会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ

2014 APRIL 4 工連日誌

- 4月定例執行部会
●時間/10:30~11:50 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
平成26年度第1回総務委員会
●時間/12:00~13:30 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
- 17日(木) 沖繩県食品産業協議会 平成26年度第1回執行部会
●時間/12:00~13:30 ●場所/(株)沖繩ホームズ会議室
- 「2014年県産品奨励月間」標語選定審査会
●時間/10:00~12:00 ●場所/沖繩産業支援センター
- 24日(木) 「2014年県産品奨励月間」ポスター制作説明会
●時間/11:00~11:30 ●場所/沖繩産業支援センター
- 25日(金) 平成26年度新入生研修セミナー
●時間/9:30~15:30 ●場所/沖繩産業支援センター
平成25年度会計監査
●時間/11:00~12:00 ●場所/工連会議室
- 5月定例執行部会
●時間/12:00~13:30 ●場所/工連会議室

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です

- 知財専門家が窓口常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援



0570-082100 (有料)

窓口運営時間...8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖繩総合事務局委託事業 /
実施：一般社団法人沖繩県発明協会

☎098-921-2666

公益社団法人沖繩県工業連合会は「沖繩の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖繩経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所/公益社団法人 沖繩県工業連合会
那覇市宇小椋1831-1沖繩産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193
編集・印刷/有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

沖縄の特色を活かした産業振興の実現

沖縄県工業連合会並びに会員の皆様には、平素より本県の産業振興にご尽力をいただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

特に、県産品奨励運動や産業まつり等においては、県産品の品質向上や販路拡大に積極的に取り組み、雇用の確保や本県経済の活性化に大きく貢献されていることに対し、改めて役員並びに会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

地場産業については、沖縄振興計画である「沖縄21世紀ビジョン基本計画」においても、ものづくりに産業等の地域経済を支え、地域振興や雇用の受け皿として重

要な産業であるとしており、持続的な発展に向け、時代の潮流に適切に対応した各種施策を展開することを掲げております。

消費者ニーズが多様化している昨今、「品質」や「価格」を重視した商品だけではなく、消費者の心に響くストーリーや作り手のこだわり等を加味した商品づくりが求められております。このような新たな付加価値を備えた県産品の開発、定番商品化及びブランド化の支援、地域ブランドの形成を促進するとともに、地理的優位性を活かした国際物流ハブ機能等を活用し、これらの県産品を国内外へ販路拡大を促進して参ります。



沖縄県商工労働部長
下地 明和

さて、沖縄県は毎年7月を「県産品奨励月間」として、県産品の愛用を喚起する期間と定めております。貴会並びに会員企業のみなさまにおかれましては、期間中の各種キャンペーンや要請活動等に取り組み、県産品の愛用促進に貢献されるほか、毎年10月に開催される「沖縄の産業まつり」の開催など、県産品の品質向上や普及拡大、地場産業の人材育成等にご尽力され、心より敬意を表します。

近年、国際社会を取り巻く環境は、日々めまぐるしく変化し、本県を取り巻く環境も例外ではありません。自立型経済の実現に向け、沖縄の歴史、文化、亜熱帯性気候から生まれ、育まれた地域産業の振興に、皆様とともに取り組んで参ります。

結びに、貴会と会員の皆様のご活躍・ご健勝を祈念申し上げますとともに、引き続き本県各種施策へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年 県産品奨励月間標語決定

標語 「美ら島の 魅力がギュッと 県産品」

「2014年県産品奨励月間」標語選定審査会が4月18日(金)、沖縄産業支援センターで行われた。

7月1日からスタートする同事業は、県産品の愛用を啓発し、地場産品を使用することにより産業の振興・活性化はもとより、雇用の創出ひいては県経済の発展に寄与することを目的に実施します。

今年、502点の標語の応募があり、8名の審査委員で構成された選定審査会の下、「美ら島の 魅力がギュッと 県産品」が最優秀賞に選ばれた。

審査委員からは、「手作りの思い、沖縄の魅力が県産品一つ一つに詰まっていることを表現している」、「県産品の良さがたくさん詰まっているという印象が強く感じられる」、「沖縄のものづくりを担う職人さんたちが心を込めて作った一品。最高傑作には魅力がギュッと濃縮されて詰まっている感じが良い」、「ギュッとという音の響きが県産品の充実感をよく表現している」、「県産品の良さがストレートに伝わってくる」などの講評があった。最優秀賞に選ばれた標語は、10月に開催される「第38回沖縄の産業まつり」のテーマとしても使用される。

最優秀賞 1点

「美ら島の 魅力がギュッと 県産品」

■ 友利 加奈子 / (株)オー・シー・オー

優秀賞 2点

「使うほど 暮らし豊かに 県産品」

■ 内間 安彦 / (株)サン・エージェンシー

「はいさーい はいたーい 万人笑顔で県産品」

■ 大城 恒雄 / 沖縄コーテック(株)

奨励賞 3点

「島ぬ宝 育て抜げる 県産品」

■ 宮里 光治 / 沖縄電力(株)

「県産品 造って使って 皆で支える県経済」

■ 安富 辰也 / 琉球セメント(株)

「うちのーの あい!がいっぱい 県産品」

■ 崎原 光明 / 寝起き川柳会

標語選定審査委員 (順不同)

坂名城泰山 [(株)琉球新報社 取締役編集局長]
武富 和彦 [(株)沖縄タイムス社 執行役員編集局長]
平良 菊 [(一社)沖縄県婦人連合会会長]
松元 靖 [JAおきなわ 統括参事役]

仲村 正雄 [(公社)沖縄県工業連合会 食品関連産業部会長]
眞志喜 実 [(公社)沖縄県工業連合会 建材関連産業部会長]
古堅 勝也 [沖縄県商工労働部 ものづくり振興課長]
桑江 修 [(公社)沖縄県工業連合会専務理事]

工連表彰等受賞者決定 ~平成26年度総務委員会~

工連表彰及びオグレスビー氏工業功労者賞について審査を行う総務委員会(執行部及び各部会長で構成)が4月3日(木)那覇市のホテルロイヤルオリオンで開催された。

今年度の工連表彰には、優良従業員賞に48社86名、優秀技能者賞に14社14名、創意工夫功労者賞に3名2グループの推薦があり、総務委員会の審査において、各賞の受賞者が決定した。また、沖縄の工業発展に功績のあった人材に贈られる第48回オグレスビー氏工業功労者賞には3名の推薦があり、審査の結果、委員の満場一致で授与が決定した。

審査で選ばれた受賞者には、平成26年6月4日(水)に開催する第30回定時総会で表彰式が行われ、その席で表彰状並びに記念品が授与される。

オグレスビー氏工業功労者賞及び工連表彰審査基準

■ オグレスビー氏工業功労者賞

- ① 企業を興し、成功した者。
- ② 新製品を開発して成功した者。
- ③ その経営する企業によって沖縄経済に大きく貢献した者。
- ④ 人格高潔なる者。
- ⑤ 工連の理事・幹事を経験したか、或いは現職の者。
- ⑥ 他の経済団体・組合等で役員を経験した者等。

■ 優良従業員賞

- ① 永年勤続者(入社10年以上)で他の従業員の模範であること。
- ② 推薦の枠は従業員が50名以下は1名、50名以上は2名、500名以上は3名、1,000名以上は4名まで推薦可能。

■ 優秀技能者賞

- ① 社内における優秀な技能の持ち主で、実績顕著な者であること。
- ② その技能において5年以上の経験者であること。
- ③ 技能を証明することが確認できること。
- ④ 推薦枠は1社1名。

■ 創意工夫功労者賞

- ① 職場内における創意工夫功労者で、実績顕著な者であること。
- ② 創意工夫の内容と実績が確認できること。
- ③ 推薦枠は1社1名または1グループ。

第48回オグレスビー氏 工業功労者賞および工連表彰受賞者

第48回オグレスビー氏工業功労者賞受賞者

下地 清吉氏

有限会社沖縄養生薬草本社／代表取締役社長

高安 正勝氏

株式会社めちまーす／代表取締役社長

新里 修一氏

合名会社新里酒造／代表社員

感謝状

西村 聰氏

公益社団法人沖縄県工業連合会／副会長
琉球セメント株式会社／代表取締役社長

金城 盛順氏

一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄／理事長

学校と産業界の交流事業功労者感謝状

佐喜眞 保氏

株式会社佐喜眞義肢／代表取締役社長

高安 正勝氏

株式会社めちまーす／代表取締役社長

新城 博氏

株式会社トリム／代表取締役会長

仲村 正雄氏

株式会社なかむら食品／代表取締役社長

知念 律子氏

株式会社フアッションキャンディ／代表取締役社長

伊良波 勲氏

沖縄県衣類縫製工業組合／事務局長

新垣 良夫氏

元有限会社沖縄養生薬草本社／総務部長

福島 康文氏

福島特許事務所／所長

座間味 亮氏

株式会社赤マルソウ／代表取締役社長

■優良従業員賞受賞者〔48社／86名〕

氏名	会社名
古堅 浩司	丸正印刷(株)
新垣 歩	丸正印刷(株)
豊里 勲	オキコ(株)
城間 富三	オキコ(株)
翁長 聡	(株)沖縄ホーム
仲里 吉史	(株)沖縄ホーム
又吉 琢也	拓南鐵建(株)
岸本 桃子	沖縄ピーシー(株)
照屋 朝章	沖縄テクノクリート(株)
我喜屋めぐみ	沖縄テクノクリート(株)
大塚 敏光	(資)精印堂印刷
角田 正美	(株)沖縄環境保全研究所
新城 智子	(株)沖縄環境保全研究所
比嘉 直也	総合紙器(株)
上原 守	総合紙器(株)
平良 守	(株)おきさん
喜舎場 敦	沖縄プラント工業(株)
島袋 孝	沖縄プラント工業(株)
垣花 久枝	沖縄ガス(株)
上原 治	沖縄ガス(株)
友寄 和樹	オリオンビール(株)
稲嶺 誠	オリオンビール(株)
新里 智秀	(株)ざまみダンボール
宜保 繁	(株)ざまみダンボール
與儀 学	沖縄ガルバ(株)
生盛 永喜	リウコン(株)
伊集久 明	リウコン(株)
石川 光子	(株)仲善
伊集真知子	(株)仲善

氏名	会社名
渡慶次 克枝	(株)開邦工業
金城 翼	(株)開邦工業
並里 英男	沖縄ハム総合食品(株)
富川 誠	沖縄ハム総合食品(株)
伊計 一太	昭和製紙(株)
城間 盛孝	昭和製紙(株)
田里 安裕	金秀鋼材(株)
與古田 厚己	金秀鋼材(株)
桃原 忍	沖電企業(株)
下地 留美子	沖電企業(株)
照屋 優子	琉球セメント(株)
長間 正典	沖電水工事(株)
川中 京子	(株)久米島の久米仙
玉城 建一	(株)久米島の久米仙
當山 秀行	(有)新垣菓子店
宮城 馨	(有)新垣菓子店
友利 隆紀	大和コンクリート工業(株)
金城 順二	(資)沖縄関ヶ原石材
我喜屋 忠	金秀アルミ工業(株)
親川 忍	金秀アルミ工業(株)
大城 晴彦	沖縄製本(株)
知念 秀和	拓南製鐵(株)
喜屋武 俊明	拓南製鐵(株)
島袋 健	拓南商事(株)
上地 一史	拓南商事(株)
外間 郁夫	沖縄明治乳業(株)
比嘉 克哉	(株)仲本工業
玉城 俊弥	(株)仲本工業
梅澤 功	光文堂コミュニケーションズ(株)

氏名	会社名
大城 末子	光文堂コミュニケーションズ(株)
松本 等	(株)近代美術
阿部 亜城	(株)近代美術
渡嘉敷 真也	拓南伸線(株)
宮城 武志	拓南伸線(株)
稲福 宏昌	沖縄電力(株)
前西 原裕	沖縄電力(株)
多和田 真一	金秀鉄工(株)
大浦 明	金秀鉄工(株)
平田 清則	(株)沖電工
稲嶺 優志	(株)沖電工
喜屋武 成史	南西石油(株)
友利 唯一	沖縄ガスリビング(株)
伊禮 門勇	(株)ミヤギパッケージ
宮城 昌人	(株)ミヤギパッケージ
上原 律子	沖縄ソーリスト(株)
下地 宏樹	沖縄ソーリスト(株)
宮城 克佳	沖縄ソーリスト(株)
大森 和江	(株)琉球銀行
嘉数 ルリ子	(株)琉球銀行
中山 典子	(株)琉球銀行
儀間 百代	(株)琉球銀行
屋富 祖絵美	(株)正広コーポレーション
島袋 英美	(株)沖縄銀行
知念 貴子	(株)沖縄銀行
根路 銘安秀	(株)沖縄銀行
山里 泰二	(株)沖縄銀行
葉棚 清朗	(株)アドスタッフ博報堂

■優秀技能者賞受賞者〔8名〕

氏名	技術の名称・会社名
金城 辰郎	特殊機械の操作及び健康食品製品加工技術 ●金秀バイオ(株)
與儀 博貞	多様な工法に精通し難易度の高い現場の施工管理責任を果たす ●リウコン(株)
桃原 勝英	ビール醸造技術(仕込・発酵貯酒・ろ過) ●オリオンビール(株)
座喜味 成二	アルミニウム型材の尺曲げ加工 ●金秀アルミ工業(株)
高崎 善裕	品質管理全般の技能・技術 ●拓南製鐵(株)
安次富 政光	鋼構造物工場製作組立 ●(株)仲本工業
上間 正広	オフセット印刷技能士 ●光文堂コミュニケーションズ(株)
友利 至伯	マーケティングプランナー ●(株)アドスタッフ博報堂

■創意工夫功労者賞受賞者〔3名／2グループ〕

氏名	技術の名称・会社名
久保勝	改善提案で生産性及び安全性の向上に責任を果たす ●リウコン(株)
大和なでしこ サークル	窓口業務における資材納品降ろし場所確認(案内)の時間短縮 ●大和コンクリート工業(株)
福本 将希	熱分解油の精製 ●拓南商事(株)
宮城 裕	汎用ソフトを活用した生産管理システムの構築 ●金秀アルミ工業(株)
TPMサークル 「ジャンプサークル」	印刷物の表面加工における異物混入防止対策 ●(株)ミヤギパッケージ

平成26年度新入社員研修セミナー

平成26年4月25日(金) (公社)沖縄県工業連合会



ウォーミングアップを兼ねて、株式会社目加田経営事務所 知念諭氏によるプログラムでは、参加者の緊張もほぐされ、和やかな雰囲気ですeminarがスタートしました。



社会人としての自覚と企業人としての基礎を培うことを目的に、公益社団法人沖縄県工業連合会が主催する新入社員研修セミナーが行われました。会場となった沖縄産業支援センターには、関連企業の新入社員約50名が集まり、熟練の講師による研修セミナーを受講しました。

主催者としてあいさつした沖縄県工業連合会副会長・人材育成委員会委員長仲田龍男氏は、「沖縄県の発展のためにはものづくりの業界が発展することが必要不可欠であり、工業連合会の活動は大きな影響を与えています。本セミナーに参加した新入社員のみなさんは各企業を背負って立つ大切な人材であり、工業連合会としても多大な期待を寄せています」と新入社員を激励しました。

セミナーの講師を務めたのは、株式会社目加田経営事務所部長・チーフコンサルタント根橋弘行氏。同社スタッフの知念諭氏によるオリエンテーション&アイスブレイクによって緊張をほぐしてからスタートしたセミナーでは、「伸びる社員とは」をテーマに社会人としての基本姿勢と基本動作、プロフェッショナルを目指すため

に必要なことなどについて講義が行われました。

その後、参加者をランダムに分けて作ったグループによるディスカッションも行われ、グループごとにリーダーとそれぞれの役割を決め、「学生と社会人との違い」「今後自分たちがすべきこと」などのテーマについて討議を進めていきました。討議の結果は紙に記して壁に掲示し、各グループの特色が活かされた内容に、根橋氏からそれぞれ講評がありました。

昼食を挟んで、午後はビジネスマナーをメインとした実技訓練となり、発声訓練、言葉づかいの訓練、また、正しい姿勢の取り方、お辞儀の仕方を立ち上げて動作しながら学んでいきました。名刺交換や電話応対の訓練を通し、実用的な知識を身につけた新入社員たちは、「知っているようで知らなかつたことが多く、勉強になりました。明日からの業務に活かしていきたいです」と、これまで以上に労働意欲を高めていました。

講師として指導を行った根橋氏は、「企業を竹に例えると、様々な問題や障壁は『節』の部分となり、その強さを形成します。問題を解決し障壁を乗り越えて強くなるのは個人も同じ。セミナーの内容をそれぞれ咀嚼(そしゃく)し、自己研鑽と啓発に役立てることでたくましい社会人になつてもらえれば」と語り、参加者の技術と精神の向上に期待を寄せていました。



株式会社目加田経営事務所部長
チーフコンサルタント
根橋弘行氏



沖縄工業連合会副会長
人材育成委員会委員長
仲田龍男氏

着る人をおしゃれにする ハイクオリティな「かりゆしウェア」

株式会社 日進商会
代表取締役社長 大城 英幸



沖縄の文化を 大切に守り続ける

ワイシャツとネクタイに代わる夏季のビジネスウェアとして、沖縄県に広く定着した「かりゆしウェア」。

沖縄らしさを表現し、沖縄県内で縫製されたものを定義としています。



「MAJUN」のかりゆしウェアは着心地のよい素材と飽きのこない洗練されたデザインが人気



アを着用してもらい、沖縄の南国的ウェアをアピールしました。それを契機に県内での「かりゆしウェア」の需要は加速していきます。また、後にクールビズの二商品として、小泉元首相が着用するなどにより、その注目は全国にも拡がりました。

「かりゆしウェア」という商標登録も沖縄県工業連合会より、沖縄県衣類縫製工業組合に譲渡されたことで、県内縫製業界の「沖縄県産品ブランド」として確立されました。

株式会社日進商会も、沖縄サミットを機に大城社長を筆頭にかりゆしウェア「MAJUN」ブランドを立ち上げました。沖縄のカルチャーを県内で育て、県民に愛され、さらには県外・海外へ発信していきたいというポリシーをお持ちです。

素材や製法にもこだわりを持って製造しています。「MAJUN」のかりゆしウェアは県内でもいち早く「巻き伏せ本縫い」という技法を採用。内側がフラットになつていて、着たときの引っかかりがなく、肌になやましい仕上がりを実現しています。高級シャツにも使われる縫製技法であり、ほつれにくく、見た目にも美しいと高い評価を得ています。

「着る人をお洒落にし、喜んでもらえることがもっとも大きな目標です。ハイセンスな方々に喜んでもらえればという思いで作っています」と語る大城社長。デザインの選定からバイヤーとの取引に至るまで、ほぼすべての工程に自ら関わり、県外の企業への売り込みや商談にも必ず足を運ぶといっています。

現在、「MAJUN」のかりゆしウェアは日本各地の百貨店や販売店で取り扱われ



ニヌファブシ(北極星)とは、航海の時、船の進むべき方向を照らし、教える重要な星ということ、「世の中の目標となる星になりなさい。」という意味も持つ沖縄のことばです。



柄や素材に合わせたオリジナルボタンや巻き伏せ本縫いの採用によりハイクオリティを実現



自動的にボタンを縫い付ける機械は沖縄県内で数台しかない貴重なもの

Corporate Profile

株式会社日進商会

業 種 学生服製造販売・スポーツウェア販売
企業ユニフォーム販売
かりゆしウェアを中心としたカジュアルウェア
製造・販売

設 立 昭和27年6月

代 表 者 大城英幸

住所・連絡先 本社：沖縄県糸満市西崎町4丁目21番7
TEL:098-840-3033・FAX:098-840-3010
那覇本店：沖縄県那覇市壺屋1丁目7番11号
TEL:098-863-2654・FAX:098-868-2753

オフィシャル http://www.nissinsyoukai.co.jp
サ イ ト http://www.majun-okinawa.jp

しており、三越伊勢丹といった老舗店でも販売スペースが設けられています。今年100周年を迎える日本橋三越本店では「MAJUN」のかりゆしウェアを着たライオン像が客を迎えて話題になりました。広がる客層に合わせて、商品のバリエーションも増やしています。すっきりとしたシルエットと都会的な柄でリゾートにもビジネスにも合う「OCEAN BLUE」、上品で落ち着きのある色合いが特徴の「LEAF GREEN」、ラグジュアリーな「MAJUN OKINAWA」に加え、昨年より県外の百貨店など、おもに販売される「MAJUN PLUS」を新発売。デザイン性の高いショートラウンドボタンの採用がお洒落な方々に好まれています。また、これまでない斬新なスタイルの「かりゆしジャケット」も販売され、新しい形のカジュアル・フォーマルとして存在感を示しつ

つあります。かりゆしジャケットは県外で先に販売がスタートしており、これまでの「沖縄で販売されたものを東京へ持ち出す」という常識とは異なり、「東京の地で認めてもらい、地方(沖縄)へ拡散する」という新しい発想が注目されています。また、デイズニー社とのコラボにより、ミッキーマウスなどの人気キャラクターを沖縄風なデザインでアレンジした、かりゆしウェアも開発中で、さらにグローバルなマーケットを視野に入れています。「県内のかりゆしウェア業界はすでに飽和状態であり、今後は県外、国外へとシェアを拡げていかななくてはなりません。沖縄と気候が類似している東南アジア諸国や最先端のファッションに敏感な欧州へ販売の幅を拡げていければ」と大城社長の目は世界へと向けられています。

一過性のブームで終わらせず常に進化を

学校制服や一般企業のユニフォーム、オリジナルかりゆしウェアなど、幅広い事業展開を続ける日進商会。「お客様満足度No.1のメーカー型商社」を目指し、喜ばれる商品作りをこころがけているといいます。

「現状のシェアや評価に満足してはいはいいものは作れません。常に創意工夫を凝らし、思いをこめて、ていねいに作らなくては。かりゆしウェアにしても、デザイン、技術ともに進化を重ねてきたからこそ現在のような認知度を獲得できているのでしょう。一過性のブームで終わらないよう、常に前へ向かって進んで行かなければ」と語る大城社長。通常の業務以外にも、ビジ

ネスマッチングの場や展示会に積極的に参加し、トレンドや社会情勢にアンテナを張っています。社員にも進化の姿勢を浸透させるため、県外のシャツメーカーへの研修派遣によって技術を蓄積しています。販売部門のスタッフも県外への販路拡大にも積極的に取り組み、阪急百貨店での販売も決定。東京、関西、九州などの都心でのシェアを拡げるための動きも活発となっています。大城社長は「自社ばかりでなく、沖縄県全体の縫製技術向上、縫製業界活性化のために少しでも力になれば」と思っています。ひいては、沖縄経済にも寄与できれば「幸い」と語り、さらなる発展を誓いました。



ちばりよ〜県産品

株式会社 比嘉製茶

●本社／西原町字小那覇1043-3
TEL 098-945-5096・FAX 098-945-2390
MAIL info@higatea.co.jp
http://www.higatea.co.jp/



楽天市場ランキングさんびん茶部門で売上げ No.1 の商品から、女性向けに開発された商品など、バリエーションも豊富。

沖縄の「公式茶」認定を目指して 商品開発・普及に奮闘中！

昭和26年に桜坂で創業。合資会社として現在の西原町に移転したのが昭和53年。沖縄を代表する飲料として、また、広く県民に愛される「さんびん茶」製造のパイオニアとして、若い世代にも親しまれている比嘉製茶。

創業者の孫にあたる代表取締役の比嘉忠志氏は、祖母が作った茶の味を忠実に守り続けています。

「ひとくちに茶葉といっても、10以上のランクに分かれており、ランクが高いものと低いものとは、味も香りもまったく違います」と話します。「さんびん茶の素材として使うジャスミンは中国から仕入れています。雑味が出てしまうため花の部分はひとつひとつ取り除きます。その手間を惜しまずていねいに作ることで、香り高いハイランクのお茶ができるのです」。

中国から仕入れた葉を沖縄の工場加工、パッケージして販売。小さめのサイズや手軽に使えるティーバッグも扱っています。昨年には新商品「五宝美茶(ごほうびちゃ)」も販売。働く女性をターゲットとし、月曜日から金

曜日までのウィークデイ5日間に合わせた香りと風味のお茶を詰め合わせています。ハイビスカスやレモングラスの華やかな香りと洗練されたパッケージも話題となっています。

さらに、沖縄とアジアで飲食業を中心に幅広く展開している、えんぐるーぷに茶葉を提供して開発された「ごーやー茶」は観光客に人気で、さらにシークワサージュースの開発・販売も手がけています。シークワサージュースは今年4月に香港へ初出荷されたところであり、反応によってはさらに中国、台湾などアジア全土に広めていきたいという考えです。

アイデア商品やブレンド商品ばかりでなく、昔ながらのさんびん茶の普及・販売促進にも力を入れています。

「さんびん茶が沖縄県の公式飲料に認定され、ホテルでのウェルカムドリンクや海外からの来賓のおもてなしに使ってもらえるようになれば」と比嘉社長は話し、県との交渉にも積極的に取り組み、さんびん茶の地位向上に意欲を高めています。



2003年 ISO9001の認証取得。全社員が食品の安心安全を第一に考え行動しております。これからもより良い製品をお客様に提供し続けるためにもお客様のニーズにあった製品づくりを目指していきます。



株式会社比嘉製茶
代表取締役 比嘉忠志氏



新うちなーむん紹介

手づくり菓子の店 なかとみ

●本社／中城村字南上原162
TEL.098-895-2262 (FAX兼用)



手作り・無添加にこだわる「田いもパイ」は、女性を中心にクチコミで広まり、店一番の「看板商品」に大成長。また、沖縄の伝統菓子なども人気があります。

素朴な風味とやさしい味を 次の世代に紡ぐ

手づくり菓子の店 なかとみは平成元年、宜野湾市に設立。共同経営者の富島初子と仲地ヨシ子の名からそれぞれ二文字ずつ取って「なかとみ」と名づけられました。

宜野湾市主催の講習会などで、市の特産品である田いもを使った料理を学んでいた富島が家庭で作り、近所に配っていた田いもパイが人気を呼び、周囲からの勧めもあつて、店を構えたのがはじまりだといえます。

カリツとした歯ごたえと、田いものやさしい甘みが人気を呼び、食アメニティコンテスト会長賞や全国生活研究グループ連絡協議会「手づくり加工推奨認定証」、宜野湾市産業まつり優秀賞など様々な賞を受賞。田いもパイの元祖として知られています。

また、パイだけでなく、田芋のあんが入った「田いももち」や独自の研究により作り上げた特製田芋あんの入った「蒸しケーキ」も開発。ムーチャーやフチャギといった沖縄の行事に欠かせないのでできない伝統菓子もそろえており、旧盆や清明祭（シーミー）の時

期には3000個〜6000個製造するといいます。

平成16年には工場・直売店を現在の中城村南上原に建設。できたての味を求めて多くの人々が訪れます。同時期、母親から代表者の権利を引き継いだ大嶺美奈子さんは、幼少期に自宅でおやつとして食べていた田いもパイの味を未来へ継承していきたいと話します。「すべて手作りで無添加にこだわっています。小さな子供からおじいちゃん、おばあちゃんまで幅広い世代に好まれる素朴で懐かしい味わいを守っていきたくて考えています」。

昔ながらのやさしい味を求めて、わざわざ遠方から訪ねてくる常連客や旅行のたびに足を運ぶ観光客も多いそう。「田いもパイをちんすこうやムーチャーと並ぶ沖縄の銘菓といわれるまでに周知させることが目標。地元沖縄の食材を使って地元の人々の手で作るメイドイン沖縄のおやつをもっと多くの方に食べていただきたいです」と大嶺代表は笑顔を見せてくれました。



あんを包む作業はもっとも難しいといわれ、熟練のスタッフの技が光ります。



ゆいくる材の新規申請受付について



平成26年度
沖縄県リサイクル資材評価認定制度

【ご案内】

沖縄県土木建築部では平成16年7月に「沖縄県リサイクル資材評価認定制度(ゆいくる)」を制定し、年1回、申請受付を行っております。今年度の受付申請期間等が決定しましたので、申請を希望される方にご案内致します。

◎沖縄県リサイクル資材評価認定制度(ゆいくる)とは

資源循環型社会の構築を目指し、沖縄県土木建築部が発注する公共事業でリサイクル資材の利用を促進するための制度です。

◎「ゆいくる」には以下のようなメリットがあります。

(リサイクル資材製造販売者にとっては)

- ・沖縄県リサイクル資材評価認定制度に申請し、同制度で認定された建設資材(ゆいくる材)は、沖縄県土木建築部が発注する公共工事で利用方針に従い使用されるようになります。
- ・沖縄県リサイクル資材認定制度(ゆいくる)のロゴマークが使用できるようになります。
- ・沖縄県リサイクル資材認定制度の認定資材としてホームページ等に情報が掲載されます。

(工事受発注者にとっては)

- ・品質/性能/安全性の確保されたりサイクル資材の選定が容易になり、適正に使用できます。

1. 受付期間 平成26年6月2日(月)～平成26年6月13日(金)

※ 受付時間：土日・祝祭日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00

※ 受付は予約制で前日までに下記の担当へ電話で予約が必要です。

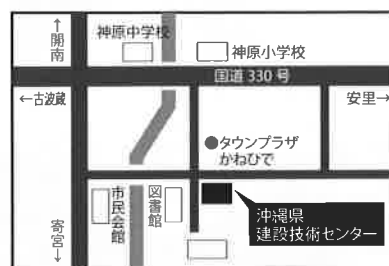
2. 受付場所 (一財)沖縄県建設技術センター 寄宮庁舎1階研修室 〒902-0064 那覇市寄宮1丁目7番13号

3. 申請資格 沖縄県内で発生した廃棄物を原料として製造された建設資材について認定を受けようとする者(但し、県内の製造者に限る)

4. 申請方法等 (一財)沖縄県建設技術センターのホームページ 「ゆいくる」→「ゆいくる材認定申請(製造業者向け)」をご覧ください。

■ <http://www.okinawa-ctc.or.jp> ■

5. 問合せ先 (一財)沖縄県建設技術センター 試験研究部 TEL 098-832-8442 / FAX 098-833-3306 建設リサイクル班(担当：仲松・宮城・太田) ■ yuikuru@okinawa-ctc.or.jp ■



平成26年度 中小企業者のための沖縄県制度金融のご案内

H26.4.1現在

資金名		融資条件等	融資対象	融資限度額 (単位 万円)	融資期間 (据置期間)	融資利率 (固定) %	保証料率	融資斡旋・認定等 申込先
事業 歴 が 1 年 以 上 の 事 業 者	短期 運 転	一般貸付	短期的な運転資金を必要とする中小企業者	運転のみ1,000	1年	2.20	0.45~ 1.50	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫
		売掛債権 担保貸付	他の事業者等に売掛債権を有する中小企業者	運転のみ3,000			0.43	
	小規模 企業 対策	一般貸付	従業員20人以下の企業(商業・サービス業は5人以下)※宿泊業及び娯楽業は20人以下	運転・設備併せて1,250	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.25	0.45~ 1.45	商工会 商工会議所 市町村商工担当課
		特別小口貸付	中小企業信用保険法に規定する特別小口保険該当者に対する無担保無保証人制度				2.10	
	小口零細企業		従業員20人以下の企業で、既存の保証協会の保証付融資残高との合計が1,250万円以下の小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)※宿泊業及び娯楽業は20人以下	運転・設備併せて既存の保証協会の保証付融資残高との合計で1,250	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.10	0.50~ 1.75	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫
	経営振興		経営の近代化、合理化を図る中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて8,000 (運転 3,000) (設備 5,000) (運転2,000、設備5,000)	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.40	0.45~ 1.50	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫
	新事業分野進出 <※利子補給対象>		事業転換や多角化により新たな事業分野に進出する中小企業者、協同組合等	・事業転換の場合 運転・設備併せて10,000 (運転3,000、設備7,000) ・多角化の場合 運転・設備併せて7,000	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.30	0.45~ 1.40	県産業振興公社 商工会 商工会議所
	雇用創出促進 <※利子補給対象>		事業拡大や多角化計画に基づき、新たに常時使用する従業員を1名以上雇い入れようとする中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて8,000 (運転 3,000) (設備 5,000)	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.00	0.45~ 1.45	商工会 商工会議所
	組織 強 化 育 成	一般	商工業関係組合及び構成企業	1組合あたり: 共同事業資金 5,000 転貸資金 30,000 (※1転貸先 3,000)1組合員あたり 3,000 ※転貸資金は一般貸付のみ	運・7年(1年) 設・10年(1年)	1.50 (ただし 変動あり)	0.45~ 1.45	県中小企業団体 中央会
		セーフティネット	売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている商工業関係組合及び構成企業				0.60	
	中小企業 セーフティネット		・売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている中小企業者、協同組合等 ※原油・原材料の高騰により資金繰りが厳しい中小企業者、協同組合等を追加	運転・設備併せて3,000 ※設備資金はセーフティネット保証第3号、第4号又は第5号の適用を受ける場合のみ	運・7年(1年) ※セーフティネット保証第3号、第4号又は第5号の適用を受ける場合は運・7年(1年)、設10年(1年)	2.10~ 2.30	0.45~ 1.40	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 ※市町村商工担当課 (セーフティネット保証認定)
	中小企業再生支援		沖縄県中小企業再生支援協議会等の支援を受け再生計画・経営改善計画を策定した中小企業者、協同組合等 ※「おきなわ経営サポート会議」を追加	運転・設備併せて8,000	運転・設備 10年(1年)	取扱金融機関 所定金利	0.45~ 1.40	県中小企業再生支援協議会
資金繰り円滑化借換		(対象1)4分の1以上償還した沖縄県信用保証協会の保証付き融資を借り換える者 (対象2)セーフティネット保証の市町村による認定を受け、かつ借換事業計画書を作成している者	運転・設備併せて5,000	10年(6ヵ月)	2.70	0.45~ 1.40	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 ※市町村商工担当課 (セーフティネット保証認定)	
						2.60		0.55
産 業 振 興		オキナワ型産業振興	県内において、地域特性を生かした比較優位性のある産業「オキナワ型産業」を営む中小企業者、協同組合等 ※「観光産業」を追加	運転・設備併せて10,000 (運転 5,000)	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.20	0.45~ 1.40	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 ※商工会・商工会議所 (観光産業のみ)
業 歴 要 件 な し		企業立地推進	国際物流拠点産業集積地域、情報通信産業特別地区等において、工場、事業所等を設置しようとする中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて25,000 (運転 10,000)	運・10年(1年) 設・15年(3年)	2.20	0.45~ 1.40	県中小企業支援課
		ベンチャー支援 <※利子補給対象>	ベンチャービジネスを展開する中小企業者、協同組合等 ※経営革新の承認を受けた企業も対象	運転・設備併せて3,000	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.40	0.45~ 1.40	県産業政策課 県中小企業支援課
		創業者支援	独立・開業を行う者又は開業後1年未満の事業者	運転・設備併せて1,000	運転・設備 7年(1年)	2.30~ 2.40	0.45~ 1.35	県産業振興公社 県商工会連合会 商工会 商工会議所

※1 融資条件等については、年度途中で変更する場合があります。

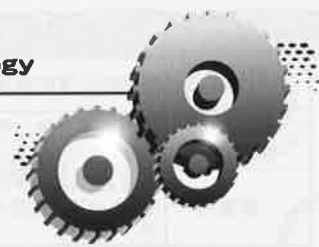
※2 保証料率は、資金の種類及び融資対象者の経営状況等の情報に基づき決定(詳細は沖縄県信用保証協会までお問い合わせ下さい。)

沖縄県商工労働部中小企業支援課 ● TEL(098)866-2343

沖縄県信用保証協会 ● TEL(098)863-5300

沖縄県産業振興公社経営支援課 ● TEL(098)859-6237

沖縄県中小企業団体中央会 ● TEL(098)859-6120



公開講座 ミニロボットフェスティバルを開催しました！

沖縄高専では、3月26日(水)に道の駅許田「道路情報ターミナル」において、公開講座「ミニロボットフェスティバル」を開催しました。平日の開催ではありましたが、春休み期間ということもあって、大勢の子どもたち(特に学童)に会場に足を運んでいただき、沖縄高専と都城高専とのロボット競技や操縦体験を通してロボットの魅力に触れていただきました。ロボット競技では子どもたちも歓声をあげ、会場一体となって楽しむことができました。

参加した子ども達からは、将来、沖縄高専に進学しロボットを作りたいとの声も聞かれました。



高専ロボ“縄跳びロボット”で遊ぶ児童



手作りロボットに興味津々です。

平成26年度入学式を挙行了しました

沖縄高専では、4月2日(水)、本校体育館において入学式を挙行了しました。

創立11年目となる今年度は、本科への新入生163名と、外国人留学生2名、専攻科への新入生32名が入学しました。

式では、伊東校長から、新入生に対して、入学許可宣言が行われた後、「何事にも果敢にチャレンジし、自らの可能性を追求していただきたい。将来は地域、世界の産業界を先導する技術者として成長していかれることを期待しています。」と挨拶があり、引き続き、来賓の稲嶺 進名護市長、湧川 昌秀産学連携協力会会長及び大濱 安典後援会会長から祝辞があり、新入生は緊張した面持ちで気持ちを新たにしていました。

また、新入生を代表してメディア情報工学科の西銘 かなさんが、「在学中は諸規則を守り、学生としての本分を全うする」と力強く宣誓しました。



告示を述べる伊東校長(中央)

「平成26年度沖縄工業高等専門学校産学連携協力会理事会・総会・懇親会」を開催しました

平成26年度沖縄工業高等専門学校産学連携協力会(会長湧川 昌秀)の理事会・総会・懇親会を4月15日(火)に口ワジールホテル那覇にて開催しました。

総会では湧川会長の「本県の自立型経済の構築に向けた地域振興には、産学官連携による既存技術の向上や、特性を活かした新たな技術の創出と人材の育成が必要」との挨拶の後、「平成25年度事業報告」「平成25年度収支決算報告」「平成26年度事業計画案」「平成26年度収支予算案」「平成25年度役員選出(案)」



湧川会長による挨拶



沖縄高専教職員紹介の様子

を審議し、承認されました。最後に伊東校長から、産学連携協力会会員のご支援、ご協力についてお礼の挨拶がありました。引き続き開催された懇親会では、湧川会長の挨拶の後、内閣府沖縄総合事務局経済産業部長 能登 靖氏の来賓挨拶、乾杯の音頭を株式会社めちまーす社長 高安 正勝氏よりいただき、沖縄高専の教員等の紹介が行われ、和やかな雰囲気の中で会員との交流を深めました。

お問合せ先

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL:0980-50-0133 / FAX:0980-55-4012 E-mail: sangaku@m1.cosmos.ne.jp



2014年度 オープンキャンパスのご案内

オープンキャンパス

オープンキャンパスでは、学校説明、施設見学、各科体験学習のプログラムを準備しております。

- 第1回 平成26年6月21日(土)
 担当講師による実際の授業と同様の体験学習を実施
- 第2回 平成26年7月28日(月)
 夏季集中実習の様子が見学できます
- 第3回 平成26年9月15日(祝)



オーダーマイドキャンパス見学会

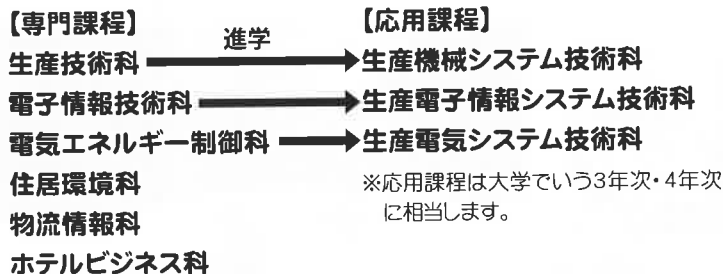
オーダーマイドキャンパス見学会では、学校単位・クラス単位・友人同士・家族単位等の団体もしくは個人での事前予約を行うことで校内を見学することができます。志望科がある場合は、その科の説明を受けることもできます。この期間は、冬季集中実習の様子が見学できます。



平成26年12月10日(水)～平成26年12月22日(月)

お問い合わせは、学務課まで

沖縄職業能力開発大学校(沖縄ポリテクカレッジ)では、将来の生きる力である技術・技能を、ものづくりを通して学習している厚生労働省が設置した大学校です。当校には、高卒2年課程の専門課程と専門課程卒2年課程の応用課程があり、専門課程は実践技術者、応用課程は生産現場のリーダーの育成をしております。



*地域企業の皆さんと一緒に“ものづくり”を行っていきたくと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。

お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282・FAX.098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/> ●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html>

琉球大学工学部後援会からのお知らせ



ETロボコンへの参加報告 琉球大学工学部機械システム工学科 上里英輔

ETロボコンは、高校生以上の学生および初級エンジニアを対象に、組込みシステム開発分野におけるモノづくりの楽しさを経験する教育機会を提供することを目的としたコンテストです(URL: www.etrobo.jp)。モデリング(ソフトウェアの設計)およびロボットの制御性能(規定のコースを走行する競技)により総合評価されます。3月から4月にかけて参加受付が行われ、5月から6月には技術教育、7月から8月にかけて試走会、9月から10月に各地区大会が開催されます。現在全国で11地区あり、各地区から選抜されたチームによるチャンピオンシップ大会が11月に開催されています。2013年大会で通算12回目の開催となりますが、沖縄地区は2010年大会から新設されました。

機械システム工学科は2010年から参加しています。最初はどのようなコンテストなのか分からない状態で、4年次の学生に卒業研究ゼミの一環として出場してもらいました。2011年からは課外活動とし、学科で参加学生を募集しています。2年次でプログラミング

の講義を履修すること、また4年次は卒業研究のため時間が取れなくなることから、参加者は3年次が中心となります。3~6名で活動していますが、メンバーは毎年入れ替わり、ほぼ初心者からのスタートとなります。5月頃から活動を開始しますが、夏休みまでは週1回程度としています。使用するロボットはレゴマインドストームを用いた、全チーム同じ構造の走行体となります。よって、これを制御するソフトウェアの設計が勝負の行方を左右します。この時期はロボットを動かすプログラミングおよびモデリングの基礎を学習します。夏休みに入ると毎日のように活動し、課題の解決にむけて試行錯誤を繰り返しています。ソフトウェアの設計・開発という、機械工学とは異なる分野の課題に学生たちは毎年苦勞していますが、その甲斐あって下記のような成績を収めることができました。このような通常の講義ではできない体験が、本科の学習あるいは社会に出た後に活かされることを期待しています。

	チーム名	受賞・入賞歴
2010年	smart	●総合部門:準優勝 ●競技部門:準優勝
2011年	T.K.S.	●総合部門:準優勝 ●モデル部門:Gold Model ●競技部門:3位 ※チャンピオンシップ大会出場
2012年	COREGO i5	●総合部門:3位 ●競技部門:1位 ●IPA賞受賞
2013年	台風からの脱出	●アーキテクト部門:総合優勝



2013年沖縄地区大会(9月28日 沖縄産業支援センターにて)

お問合せ先

琉球大学工学部後援会事務局(機械システム工学科内)

TEL:098-895-8632・8623 FAX:098-895-8636



工業技術センターだより

Okinawa industrial technology center



4月1日をもちまして工業技術センター所長となりました、與座でございます。宜しくお願い致します。

今回、沖縄県工業連合会様のご厚意で工連ニュースに寄稿させて頂くことになりました。この紙面を借りまして、厚く御礼を申し上げます。

当センターは、鋳工業の生産技術の向上を図り、地域産業の振興・発展に寄与することを目的に設置された工業系の試験研究機関であります。また、沖縄21世紀ビジョン基本計画等を推進するため、県内企業による新事業創出のための製品開発や技術開発、品質及び技術力の向上等を支援する機関として、職員一同、日々の業務に取り組んでいるところです。

本稿以降、こうしたセンターの取り組みのほか、保有技術や機器・設備、トピックス、各種のお知らせなど、皆様方に役立てていただけるような情報を提供していきたいと思っております。是非、ご期待下さい。また、当センターをご利用していただくきっかけになれば幸いです。

さて、本稿では当センターの概要についてご紹介したいと思います。

当センターは企画管理班、技術支援班、食品化学研究班、生産技術研究班(金型技術研究センター)からなり、

研究職、事務職、嘱託研究員、合わせて35名の職員が従事しています。主な事業として研究開発事業、技術支援事業、人材育成事業、交流・連携事業があります。

研究開発事業では、健康食品、バイオ、健康サービス、泡盛、工芸、環境、金属加工や機械製造業等のものづくり産業の各分野において、センター独自の研究から受託研究、共同研究等、先導的な研究を実施しております。

技術支援事業では、支援メニューとして技術相談及び技術指導、企業調査、依頼試験、機器の開放、などがあり、ご利用される方の技術課題や技術ニーズに応じた対応を行っています。

人材育成では技術講習会の開催、技術課題に即した研修生受入のほか、金型技術に特化した人材育成を実施しており、交流・連携では技術刊行物の発行や研究成果発表会を開催するなど、研究成果や技術の普及を行っています。

当センター職員は、企業の皆さま方から頼られるような機関を目指して、これらの業務に励んでおります。今後とも、皆様方のご指導、ご鞭撻とともに、当センターをご活用して頂くようお願い申し上げます。

技術的に困りのことがありましたら、工業技術センター(OITC)へ!

- 受託研究、共同研究のことでしたら 企画管理班 (TEL.929-0111)
- 技術相談、依頼試験、機器の使用等でしたら、技術支援班 (TEL.929-0114)



工業技術センター

研究開発分野

環境化学、資源化学
食品加工、醸造、食品資源
金属加工、金属化学
セラミックス、無機材料
木質材料、デザイン

技術支援

技術相談・技術指導
依頼試験、機器開放
講習会開催
技術情報提供

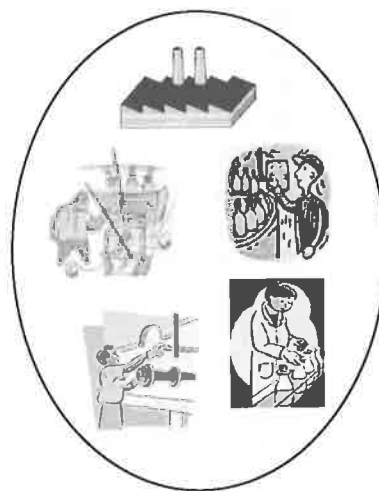
交流・連携

企画調整
情報発信(刊行物発行)
研究成果発表会

人材育成

研修生受入
金型人材育成

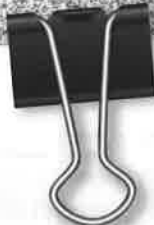
地域産業の
振興



お問合せ先

沖縄県工業技術センター 企画管理班(担当:花ヶ崎)

TEL:098-929-0111 FAX:098-929-0115 E-mail:hangskit@pref.okinawa.lg.jp



2014年 泡盛の女王が訪問

2014年泡盛の女王が沖縄県酒造組合の又吉良秀専務理事と共に4月25日(金)に本会を訪問。

今年の泡盛の女王には、新垣 知加さん、稲嶺 若佳菜さん、東江 香織さんが選出された。それぞれ泡盛のPR活動を一年間、県内外のイベントなどで泡盛の伝統と沖縄の美しさを広く知らしめていく。

左二人目から、東江 香織さん、新垣 知加さん、稲嶺 若佳菜さん



沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会員数 / 22名(2013年9月現在)



お問合せ先: 公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関

連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ 「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

- お問合せ先
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当: 座間味



今年も特別な夏が はじまります。

麦芽のうまみと爽やかな香り。
贅沢な夏の味わいを
存分にお楽しみください。

夏季
限定



NATSU ICHIBAN

麦芽のうまみと、
爽やかな香り。

麦芽のうまみ

麦芽使用率を1.2倍(当社ドラフトビール比)まで高め、丁寧にうまみを抽出したしっかりとした味わい。

爽やかな香りと苦味

100%アロマホップから引き出した爽やかな香りと苦味が、沖縄の夏にふさわしい。

こだわりの泡

きめ細やかな泡が、ビールの苦味や風味を包み込むので泡までおいしい。

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。のんだあとはリサイクル

